

2004/05/10

音声合成用 Director Xtra

Prezam TTSXtra

Version1.0



株式会社プレザム

目 次

1 . Xtra のインストールとアンインストール	6
2 . Xtra の使用方法	7
3 . リファレンス	8
new	8
register	8
get_Manufacturer	8
put_Manufacturer	8
get_Gender	8
put_Gender	9
get_Language	9
put_Language	9
Speak	9
XtraGetModeListNum	10
XtraGetModeList	10
Select	10
Stop	10
GetCurrentMode	10
GetPitch	11
GetPitchMin	11
GetPitchMax	11
GetSpeed	11
GetSpeedMin	11
GetSpeedMax	12
GetVolume	12
GetVolumeMin	12
GetVolumeMax	12
SetPitch	12
SetSpeed	13
SetVolume	13
Reset	13
イベント一覧	14
On_PZ_AudioStart	14

On_PZ_AudioStop.....	14
4 . プログラミング	15
10 . リリースノート.....	16

Prezam TTSXtra について

この度は、Prezam TTSXtra をご利用いただきありがとうございます。

この Xtra は、SAPI インタフェースの TTS エンジンによる音声合成を Macromedia® Director® で簡単に使用できるようにするためのものです。

本 Xtra は、Microsoft SAPI を使用して TTS エンジンを制御しています。そのため、音声合成エンジンは SAPI に対応している必要があります。

また、合成エンジンの性能や SAPI へのインプリメンテーションの違いから動作が違う場合のあることをご了承ください。

動作環境

Windows Me、Windows 2000、

Windows Xp Home Edition、Windows Xp Professional Edition

ただし、SAPI 対応の TTS エンジンと Microsoft SAPI が入っている必要があります。

価格および配布

価格 **52,500 円** (消費税込み)

2次配布 この製品を登録したエンドユーザー製品の一部として使用し、一緒に配布する場合、無償で配布できます。登録していないでプロジェクターにして実行すると、登録していない旨のアラートが表示されます。

株式会社プレザム

〒135-0032 東京都江東区福住 1-11-4 福住石橋ビル 5F

お問合せ E-mail: sales@prezam.co.jp お問合せ電話番号: 03-5245-1948

サポート E-mail: support@prezam.co.jp

HomePage URL: <http://www.prezam.co.jp/>

Microsoft SAPI および SAPI 対応の TTS エンジンは含まれて下りません。
別途 SAPI 対応の TTS エンジンを用意してください。

ViaVoice PowerPC は、米国 IBM Corporation の商標。

Macromedia Director Lingo は Macromedia, Inc. の登録商標。

Apple Macintosh Mac は米国 Apple Computer, Inc. の登録商標。

Microsoft Windows は、Microsoft Corporation の登録商標。

他の会社名、製品名およびサービス名等は、それぞれ各社の商標または登録商標。

『ライセンス情報』

株式会社プレザム

このライセンス情報は、『Prezam TTSXtra』（以下『本プログラム』といいます）のご使用に関するものです。

「本プログラム」をご使用になるお客様が「本プログラム」の使用を開始されると、この条件に同意されたものとみなさせていただきます（この「ライセンス情報」に同意いただけない場合は、お客様により、ただちに「プログラム」を再使用不可能な状態で廃棄してください）。

1. 著作権の帰属：

本ソフトウェアおよび本ソフトウェアに附属するマニュアル等の関連資料（以下『関連資料』といいます）に係わる著作権（キャラクターおよびその他グラフィクス、名称等も含む）およびその他一切の知的財産権は当社に帰属します。

2. 禁止事項：

お客様は、以下の行為を行うことは出来ません。

- (1) 本ソフトウェアに関し、修正、変更、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル等すること。
- (2) 本ソフトウェア若しくは関連資料又はこれらの複製物の全部若しくは一部に関して、第三者に対して販売等の利益行為を行うこと。

3. 免責：

当社は、お客様に対し、本ソフトウェア又は関連資料の欠陥、瑕疵等についてこれらを使用したこと又は使用出来なかったことから生じる一切の損害（お客様の情報の消失、毀損等による損害を含みます）に関し、損害賠償責任およびその他のいかなる責任も負わないものとします。

以上

1 . Xtra のインストールとアンインストール

PzTTSXtra.x32 を以下のフォルダーにコピーしてください。(Macromedia Director のバージョンやインストールパスが番う場合には、インストールしたパスに変えてください)。プロジェクターにした際には、プロジェクターに本 Xtra を含めるか、プロジェクターの入っているフォルダーの下に Xtra s フォルダーを作って、その中にこの Xtra をいれます。

C:¥Program Files¥Macromedia¥8.5J¥Xtras

Xtra のアンインストールは、PzTTSXtra.x32 を上記のコピーしたフォルダーから削除します。

2 . Xtra の使用方法

本 xtra は、以下のようにオブジェクトとして作成してから使用します。

```
set tts = new(xtra "PzTTSXtra")
```

```
tts.Speak("こんにちは")
```

製品登録して入手したシリアルナンバーを登録するには、以下のように new でオブジェクトを作成する前に register()により行います。

```
xtra("PzTTSXtra").register("入手したシリアルナンバー")
```

```
set tts = new(xtra "PzTTSXtra")
```

```
tts.Speak("こんにちは")
```

3. リファレンス

new

```
object tts = new(xtra "PzTTSXtra")
```

PzTTSXtraのインスタンスを生成します。

```
tts = new(xtra "PzTTSXtra")
```

register

```
xtra("PzTTSXtra").register(string serial_number)
```

製品のシリアルナンバーを登録します。これにより製品登録されたXtraとして動作します。

```
xtra("PzTTSXtra").register("XTTSnnnn-nnn-nnnnnnn")
```

get_Manufacturer

```
string manufacturer = tts.get_manufacturer()
```

TTSの製造会社名を取得します。

```
put tts.get_Manufacturer() into manufacturer_name
```

put_Manufacturer

```
tts.put_manufacturer(string manufacture)
```

TTSの製造会社名をセットします。

```
tts.put_Manufacturer("NEC")
```

get_Gender

```
integer gender = tts.get_Gender()
```

TTSの出力する声の性別を取得します。

戻り値は次のとおりです。

(1) 女性:1

(2) 男性:2

(3) 男性でも女性でもない声:0

```
put tts.get_Gender() into gender
```


put_Gender

tts.put_Gender(integer gender)

TTSの出力する声の性別を設定します。

値は次のとおりです。

- (1) 女性:1
- (2) 男性:2
- (3) 男性でも女性でもない声:0

tts.put_Gender(1)

get_Language

integer lang_id = tts.get_Language()

TTSの言語コードを取得します。

日本語は、1041になります。何も設定していない時点ではニュートラル(0)になっています。

put tts.get_Language into lang_id

put_Language

tts.put_Language(integer lang_id)

TTSの言語コードを設定します。

1041をセットすると日本語になります。

tts.put_Language(1041)

Speak

tts.Speak(string text)

指定されたテキストを指定されたTTSエンジンを使用して出力します。

tts.Speak(“こんにちは、今日はいい天気ですね”)

XtraGetModeListNum

integer nlist = tts.XtraGetModeListNum()

現在使用できるTTSのモード名の一覧数を取得します。

```
put tts.XtraGetModeListNum() into nlist
```

XtraGetModeList

string Modename = tts.XtraGetModeList (**integer** index)

indexで指定されたモード名を取得します。indexは、0からXtraGetModeListNumの戻り値-1までの間です。

```
put tts.XtraGetModeList(0) into modename
```

Select

tts.Select(integer index)

indexで指定されたモードで選択します。indexは、0からXtraGetModeListNumの戻り値-1までの間です。

```
tts.Select(0)
```

Stop

tts.Stop()

出力中の音声出力を停止します。

```
tts.Stop()
```

GetCurrentMode

string modename = tts.GetCurrentMode()

現在選択されているTTSエンジンのモード名を取得します。

```
put tts.GetCurrentModeList(0) into modename
```

GetPitch

integer pitch = tts.GetPitch()

現在のピッチを取得します。音声合成エンジンによっては正しい値の返らない場合があります。

```
put tts.GetPitch() into pitch
```

GetPitchMin

integer min_pitch = tts.GetPitchMin()

設定できる最小ピッチを取得します。音声合成エンジンによっては正しい値の返らない場合があります。

```
put tts.GetPitchMin() into min_pitch
```

GetPitchMax

integer max_pitch = tts.GetPitchMax()

設定できる最大ピッチを取得します。音声合成エンジンによっては正しい値の返らない場合があります。

```
put tts.GetPitchMax() into max_pitch
```

GetSpeed

integer speed = tts.GetSpeed()

現在のスピードを取得します。音声合成エンジンによっては正しい値の返らない場合があります。

```
put tts.GetSpeed() into speed
```

GetSpeedMin

integer min_speed = tts.GetSpeedMin()

設定できる最小スピードを取得します。音声合成エンジンによっては正しい値の返らない場合があります。

```
put tts.GetSpeed() into min_speed
```

GetSpeedMax

integer max_speed = tts.GetSpeedMax()

設定できる最大スピードを取得します。音声合成エンジンによっては正しい値の返らない場合があります。

```
put tts.GetSpeedMax() into max_speed
```

GetVolume

integer volume = tts.GetVolume()

現在のボリュームを取得します。音声合成エンジンによっては正しい値の返らない場合があります。

```
put tts.GetVolume() into volume
```

GetVolumeMin

integer min_volume = tts.GetVolumeMin()

設定できる最小ボリュームを取得します。音声合成エンジンによっては正しい値の返らない場合があります。

```
put tts.GetVolumeMin() into min_volume
```

GetVolumeMax

integer max_volume = tts.GetVolume()

設定できる最大ボリュームを取得します。音声合成エンジンによっては正しい値の返らない場合があります。

```
put tts.GetVolumeMax() into max_volume
```

SetPitch

tts.SetPitch(**integer** pitch)

ピッチを指定します。

```
tts.SetPitch(200)
```

SetSpeed

tts.SetSpeed(*integer* speed)

スピードを指定します。

```
tts.SetSpeed(200)
```

SetVolume

tts.SetVolume(*integer* volume)

ボリュームを指定します。

```
tts.SetVolume(200)
```

Reset

Tts.Reset()

TTSエンジンをリセットします。

```
tts.Reset()
```

イベント一覧

On_PZ_AudioStart

On_PZ_AudioStart

TTSエンジンから合成音声の出力が開始されたときに発生するイベントハンドラーです。

(ハンドラー例)

```
on On_PZ_AudioStart
  put "audio start"
end
```

オーディオ出力終了イベント

On_PZ_AudioStop

On_PZ_AudioStop

TTSエンジンから合成音声の出力が終了したときに発生するイベントハンドラーです。

(ハンドラー例)

```
on On_PZ_AudioStop
  put "audio stop"
end
```

4. プログラミング

Prezam TTSXtraを使用してTTS出力をするのは非常に簡単です。スクリプトに次のように記述すると「こんにちは」と発声します。tts変数をglobalにしているのは、ハンドラ内などでlocal変数になっているとそのハンドラを抜けた場合に変数が消滅してしまうためです。ムービースクリプトのStartMovieハンドラでnewしておきます。

```
global tts
Set tts = new(xtra "pzTTSXtra")
tts.Speak("こんにちは")
```

これだけでSAPI対応の音声合成エンジンが入っていれば、音声出力ができます。

何も設定せずに音声出力した場合には、TTSエンジンに対して男性でも女性でも無い声を選択するようになっています。声を男性あるいは女性の声に変更するには、次のようにGenderの値を変更します。(女性に設定する場合)

```
tts.put_Gender(1)
```

(男性に設定する場合)

```
tts.put_Gender(2)
```

複数のエンジンが入っている場合や、複数言語のTTSエンジンが入っている場合には、次のように設定することにより、選択することが可能です。

```
tts.put_Manufacturer("NEC")
tts.put_Language(1033)
```

音声出力の開始と終了を取得するにはOn_PZ_AudioStartとOn_PZ_AudioStopハンドラを記述します。

```
on On_PZ_AudioStart()
    -- 出力開始した
end

on On_PZ_AudioStop()
    -- 出力終了した
end
```

10 . リリースノート

1.0.0011 May/10/2004

配布版リリース